



『木炭チップ』、『樹木土』を使った 天候不順・気候変動に負けないための今できる土作りの紹介

『年々、収穫量が減っている』
『毎年、生育が良くない』などお困りではないですか？

もしかしたら、畑の土の有機物が減っている事が原因かもしれません。

堆肥や腐葉土などの有機物は畑の微生物によって消費されていますが、その量は年間約 1.5 kg / m² !! 有機物をエサとしている有用菌が減ると、植物にイタズラをする悪い菌の被害を受けやすくなってしまいます。毎年、堆肥や腐葉土などの適切な施用で、しっかり補ってあげましょう。

『木紅木の樹木土』
がおすすめですよ!

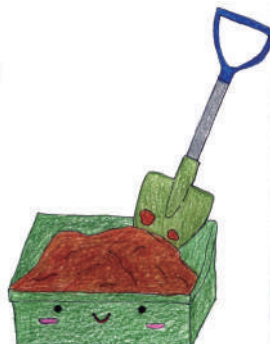
「腐葉土」
として
おすすめ



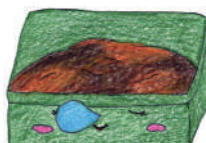
①古土に馬ふん・樹木土・ニームケーキ・木炭チップ・グアノを入れる



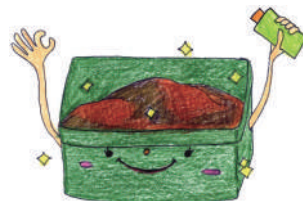
②原液〜30倍の濃い希釈のキクノールをた一つり散布する



③シャベルなどでよくかき混ぜておく



④1週間〜10日間寝かせておく。(この間に良い菌がたくさん繁殖してくれるのです!!)



⑤ふかふかで良質の土ができあがり! 苗や球根・種を植え付けしましょう

秋冬のおすすめ散布方法

●秋冬野菜の収穫時期には

朝晩には寒さが増していくのが感じられる日々ですね。葉物野菜につく虫たちもそろそろ活動をお休みする頃です。

それでも気になる時には
キクノール300倍+キトサン液300倍
(または**キトサンプラス300倍**)

収穫直前でも安心して散布していただけます!



●来春に向けての準備をしよう

秋冬野菜のすべての収穫が終わったら来春に向けて準備をしておきましょう。土壌改良として**キクノール30倍**を土がびしゃびしゃになるくらいたっぷりとかけて、軽く混ぜておきましょう。これで、連作障害対策ができ、また同じ作物を植えることもできるんです。

収穫後にできなかった場合は春に、種まき・苗の植え付け1週間〜10日前にこの作業をすれば大丈夫です!

